

# 諏訪之瀬島紹介

## 諏訪之瀬島について

面積：27.66km<sup>2</sup> 周囲：27.15km 人口：63人（H30.4月現在）

十島村で2番目に大きい島。しかし、活火山「御岳（おたけ）」があるため、居住区域に制限があり、集落は1kmほどの範囲しかなく、集落は、島の南西部に集中している。文化10年（1813年）に御岳が大噴火し、東西50余りあった家が消滅、全島民が他の島に移住。その後、約70年間無人島となった。明治期に入り、奄美大島出身の藤井富伝らが入植し、開拓が始まった。島のほとんどは、琉球竹の自生地となっている。また、春には、鮮やかな紫色をしたマルバサツキが咲きほこる。気候は温暖で、毒蛇などが生息していないため過ごしやすいが、年に数回、御岳の噴火による火山灰が集落にも降る。

## 諏訪之瀬島へのアクセス

諏訪之瀬島への交通手段は、週2～3便の「フェリーとしま2（H30.4月就航）」のみである。鹿児島市から約9時間かかる。

御岳（諏訪之瀬島；観測カメラのライブ映像）〈気象庁HPより〉

### <根上岳>



② 根上岳：諏訪之瀬島で2番目に高い山です。学校からもよく見えます。

### <御岳>



① 御岳：諏訪之瀬島のシンボルともいえるべき活火山です。

### <学校>



### <公民館>



### <診療所>



### <集落>



③ 集落：諏訪之瀬島の集落は島の南西部にあります。範囲は約1km<sup>2</sup>です。

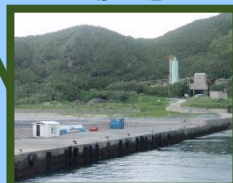
### <出張所>



### <郵便局>



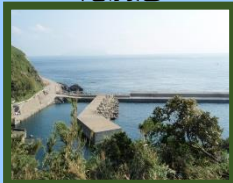
### <切石港>



### <飛行場>



### <元浦港>



- ④ 切石港：「フェリーとしま」の接岸港です。すぐとなりの浜で遠足や水泳教室が行われます。
- ⑤ 飛行場：十島村唯一の飛行場です。緊急時のヘリポートとしても利用されています。
- ⑥ 診療所：島で唯一の医療機関です。医師は常駐していません。看護師が1名常駐しています。
- ⑦ 出張所：十島村役場の出張所です。「フェリーとしま」の乗船切符はここで購入します。
- ⑧ 簡易郵便局：H30.4に開局しました。郵便や振り込み等で島を支えています。
- ⑨ 公民館：コミュニティーセンターや避難所、集会や歓送迎会など、島民が集まってさまざまな用途に使われています。
- ⑩ 諏訪之瀬島小・中学校：小学校と中学校が同じ敷地内にあります。手前の赤い屋根の建物は体育館です。
- ⑪ 元浦港：フェリーとしまが切石港に接岸できないときはこちらに着きます。